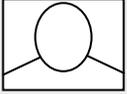


## 審判員紹介

## 新2級審判員の紹介 (2013年度昇級者)



(文面)

氏名  
出身協会

## 【掲載順】

- 竹内
- 田中
- 梶山
- 深井
- 大本

5名

竹内 茉由香  
丹有協会

この一年間本当にありがとうございました。  
みなさんの優しさにたくさん甘えさせていただきました。

多くの方にお世話になり、ご指導いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。この昇級は県の皆様方のお力添えだどつくづく感じております。

この一年多くの経験を積ませていただき、審判がいかに難しいということ。しかし、やりがいのある、奥が深いスポーツということを感じ、頑張りたいと思うようになりました。競技規則の大切さを改めて感じるとともに、自分がいかに自分自身に甘えてきたということを一 year経ってようやく思い知らされました。

これからより、自分の未熟さを痛感し、試されることが増えると思いますが、その気持ちに負けることなくチャレンジしていきたいです。また、レフェリング以外の部分でも先輩方がされてきていることやしてくださったことを、次は自分が気付き、率先してやれる審判員に成長していきたいです。

自分の判断に自信と責任を持ち、今ある課題を少しずつ改善できるよう努力し、目標である2015年のインターハイの舞台に立てるよう精進したいと思いますので、これからも引き続きご指導ご鞭撻の方よろしくお願い致します。

田中  
北播協会  
(高体連)

この度2級へ昇級させて頂きました、田中淳と申します。

まず初めに、2級審判員への昇級にあたり兵庫県サッカー協会の皆さま、北播サッカー協会の皆さま、審判員の道を歩みだすチャンスを与えてくださった高体連の先生方、そして私を支えて下さった皆さまに感謝申し上げます。

私は兵庫県ユース審判員の1期生で高校の時に審判資格を取得し昨年度、兵庫県審判トレンで貴重な経験をさせて頂きました。

今シーズンより2級候補として活動し、春に筆記試験、夏に体力試験、秋に実技試験を受験致しました。

今までの良い経験、苦い経験、が私の自信になり改善点となり常に向き合いながら審判活動に取り組んできました。

今後2級審判員として更なるスキルアップと自己研磨に励み、上のカテゴリー、上級を目指すと共にサッカーの魅力に触れ精進していきます。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



梶山勝弘  
西宮協会

この度、2級審判員に昇級させて頂きました、梶山勝弘と申します。

2級審査合格の連絡を頂き喜びと今までご指導、ご支援を頂きました皆様に感謝と心よりお礼を申し上げます。

2012年に筆記試験で不甲斐無い成績でクリア出来ずにご指導、ご支援を頂いた方々に申し訳なく自分自身が情けなく思っていたところ、審判仲間から「このまま終わって良いのですか」とお叱りを頂き、再度挑戦する気持ちになりました。このような私に再度、チャンスを与えて頂きました関係者の皆様にお礼を申し上げます。

2013年は、失敗が出来ない状況で自分を追い込むこともありましたが、良い時も悪い時も、悩んだ時も、先輩審判員をはじめとする仲間、インストラクターの方々に助けて頂きました。また、2級昇級を目指したこの2年間でサッカーの素晴らしさと審判の難しさを再認識しました。

今後は、色々な視野からサッカーと携わり、2級審判員としての自覚を持ち、兵庫県、関西のサッカーに貢献出来るよう、日々精進をしたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



深井佳晶  
尼崎協会

この度、2級審判員に昇級させて頂きました尼崎サッカー協会の深井佳晶と申します。

まず初めに、2級昇級にあたり、ご尽力頂きました兵庫県サッカー協会の皆様、尼崎サッカー協会の皆様に心より感謝申し上げます。

私はこの二年間に兵庫県社会人リーグをはじめ、様々なカテゴリーの割当や研修会に参加させて頂き、数多くの経験をさせて頂きました。3級昇級当初は、右も左も分からず未熟な私は多くの関係者の方々にご迷惑をおかけしたこともありました。その際、私に「レフェリーとは一体何か」、「2級審判員になるとはどういう事なのか」と、大変厳しくご指導いただきました。この言葉でそれまでの私自身の考え方の甘さ、レフェリーをする上での覚悟の無さを思い知らされました。

この時、改めて自分自身を見つめ直し、レフェリーをする覚悟の意味について考えたときに私はレフェリーをする重圧に耐えることが出来ず、審判を辞めようかとも考えていました。

しかし、上級審判員の皆様やインストラクターの皆様に支えられ数多くの温かいお言葉をかけていただき、現在まで活動を続けることが出来ました。この経験があったからこそ、未熟な私をレフェリーとして、そして人として大変成長させて頂きました。とはいえ、まだまだ未熟な私ですので日々精進し、自分に満足することなく、更なるカテゴリーアップを目指していきます。

そして、サッカーに関わる全ての人々が今以上に、サッカーを愛し、楽しく夢中になれる環境創りに少しでも貢献できるよう尽力いたします。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

～ 2級昇級試験を終えて ～

[実技試験日] 11月3日

[会場] 兵庫教育大学

[キックオフ] 12時

[対戦表] 兵庫教育大学 - 大阪工業大学

[結果] 0-1



大本 剛志  
尼崎協会

初めに、関西サッカー協会関係者の皆様、兵庫県サッカー協会関係者の皆様、尼崎サッカー協会関係者の皆様、感謝御礼を申し上げます。

私が本格的に上級審判員を目指そうと思い始めたのが、14歳の時でした。14歳から今まで、関西サッカー協会、兵庫県サッカー協会、尼崎サッカー協会の皆様のご指導、大きな支えのもと、2級審判員になる事が出来ました。

2010年には全日本少年サッカー大会決勝大会に推薦して頂き、参加する事により、各都道府県の上級審判員、女子1級審判員、ユース審判員と一緒に活動する事で、刺激を与え合い、今まで経験出来なかった事を多く学びました。

2級候補として約1年間活動しました。毎試合インストラクターから、丁寧に指導をして頂き、また2013年兵庫県審判トレセンにも選出して頂き、有意義な1年間を過ごす事が出来ました。

2級試験前日には、約6年間を振り返り、今までご指導して頂いたことをもう一度復習し、当日に挑みました。当日では自分でもわかるくらい緊張していましたが、「結果はどうあれ、今自分が出来ること、もっている力を発揮しよう。」と思い副審の方の助けもあり、合格通知を頂く事ができました。

2級審判員となり、また新たなスタートが始まります。まだまだ未熟ではありますが、選手の為に適切、的確な判断を行い、選手が持っている力を最大限に発揮出来るよう試合をコントロールする為にも、これから一つ一つ学び、上級審判員を目指しレベルアップしていきたいと思っております。

これからも、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

以上